

千葉大学医学部附属病院にて器質的僧帽弁逆流に対する経胸壁心エコー検査及び経食道心エコー検査を施行された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年3月1日

循環器内科

循環器内科では、経胸壁心エコー検査を用いた Volumetric 法による高精度の器質性僧帽弁逆流評価方法の検討に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2018年4月から2024年3月の期間で、3ヶ月以内に経胸壁心エコー検査と経食道心エコー検査を連続して受けた器質性僧帽弁逆流症の方

1. 研究課題名

「器質性僧帽弁逆流症における経胸壁心エコー検査を用いた高精度の逆流量評価法の検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2029年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、経胸壁心エコー検査による器質性僧帽弁逆流の重症度評価方法の精度を上げることで、低侵襲検査を用いたより正確な病態評価を可能とすることを目的としています。

2018年4月～2024年3月の期間で、3ヶ月以内に経胸壁心エコー検査と経食道心エコー検査を連続して受けた器質性僧帽弁逆流症の方を対象として、経胸壁心エコー検査データ、経食道心エコー検査データ、診療録に記載されている身長、体重、病歴、

等の各種検所見を取得して解析し、より正確に器質性僧帽弁逆流症の重症度評価を行う方法を検討します。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えたデータを解析します。氏名等と研究 ID の対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には送付しません。

4. 研究に用いる情報の種類

経胸壁心エコー検査データ

経食道心エコー検査データ

診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、既往歴等

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：循環器内科 診療准教授 高岡 浩之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院心エコー室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院循環器内科

医師 高岡 浩之

043 (222) 7171 内線 73124